

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
1	-	全般	環境基本計画の改定について、SDGsの取り組みをどのように取り入れるのか、これまでの環境計画をSDGsの関連項目として整理するのか、またはSDGsの視点で環境計画を改定するのかご検討ください。	資料 2 ⑫	生活環境総務課	渡邊委員
2	-	全般	SDGsはあまり浸透していない。どの施策がSDGsの何番に当たるのか、ひもづけながら施策を実施した方が分かりやすいのではないかと。			武田委員
3	-	全般	社会課題、経済的な課題等も踏まえ、持続可能な社会実現に向けた新しい方針を作っていくことが重要であるため、高齢の方、子育て中の方、若い学生等、それぞれの立場がどのように考えていくべきかイメージできるように、検討していただきたい。多世代の視点と、地域で取り組んでいく地域循環共生圏を踏まえた新しい方針を作っていただきたい。	具体的な施策の中で、検討していきます。	生活環境総務課	崎田委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
4	-	全般	指標については環境施策の達成度を示すような形になっていますが、数値目標は達成度だけの意味ではなく、環境の実態を示す指標もたくさんあります。数値目標を持つことは大変重要なことと認識していますが、最も重要なことは指標によって施策の有効性・適切性を判断し、課題解決に向けた施策が実行できるようにすることと理解しています。こうした観点から、課題や施策と一体化した数値目標をご検討くださいます様ご検討ください。	資料3に基づき検討していきます。	生活環境総務課	渡邊委員
5	-	全般	P D C A サイクルの一つとして具体的な数値目標を定めているが、指標と県の施策とが一体化してないと、県の施策が正しく動いているのかが見えにくい。	資料3に基づき検討していきます。	生活環境総務課	渡邊委員
6	-	全般	新型コロナウイルス感染症により、猪苗代湖の清掃活動など、人も集めにくいものもあり、個別の事業への支障となるものがかなりあるのではないかと。せっかくの機会と捕らえながら、環境施策を推進するよう考えてほしい。	資料2 ⑫	生活環境総務課	河津委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
7	1	概要図	SDGsの達成の取り組みの明示や自然との共生だけではなく、人間社会を含めた循環共生圏づくりが重要になっている観点から 基本目標に「福島を想う全ての人々の力でつくろう～安心して暮らせて、自然と共生する“新生ふくしま”～」を、例えば「福島を想う全ての人々の力でつくろう～ <u>持続的</u> で、安心して暮らせる <u>環境共生圏</u> “新生ふくしま”～などをご検討ください。	具体的な施策の中で、検討していきます。	生活環境総務課	渡邊委員
8	1	概要図	基本姿勢Ⅰの1. 放射性物質による環境汚染からの回復→放射性物質による環境汚染からの回復・ <u>監視</u>	資料2 ③	生活環境総務課	渡邊委員
9	1	概要図	基本姿勢Ⅱの1 低炭素社会への転換→ <u>脱炭素社会の形成</u> （ふくしまグリーン復興構想でも脱炭素社会が謳われています。その整合性の観点も含めて）	資料2 ⑤	生活環境総務課	渡邊委員
10	1	概要図	2 循環型社会の形成→ <u>地域循環域共生社会の形成</u> （防災上の観点から流域共生圏づくり，再生可能エネルギーやごみ焼却施設利用等で地産地消の観点から共生圏づくりが重要です。観光，エコツーリズム，遺構見学ツアーなども目的に合った圏域づくりを検討できると良いと思います。）	具体的な施策の中で、検討していきます。	生活環境総務課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
11	1	概要図	4 良好な生活環境の確保→この項目の内容に感染症対策や熱中症対策など適応法に関連した内容も盛り込むようご検討ください。	資料 2 ⑦	生活環境総務課	渡邊委員
12	11	1 環境回復の推進	2050年以降の中間貯蔵施設用地、廃炉を見据えて、浜通りの方がどういう風に地域の環境再生や復興を目指していくのか、積極的に計画を立てていく大事な時期である。 環境の分野も浜通り地域の将来の展望と廃炉に関して、みなさんが積極的に意見交換が出来る場を積極的に持っていただくのが大事な方向ではないかと感じる。	具体的な施策の中で、検討していきます。	生活環境総務課 中間貯蔵施設等対策室 除染対策課	崎田委員
13	12	1（1）環境放射線モニタリングの実施	全県的なモニタリング地点の減少計画も提案されていることから、「安全確保のためのモニタリングの実施と情報公開」も課題になるかと思えます。	具体的な施策の中で、検討していきます。	放射線監視室	渡邊委員
14	12	1（1）環境放射線モニタリングの実施	帰還困難区域について、空間線量率は随分下がってきており、この辺は人が住む、あるいはこの辺は人が住まないが立ち入ったりすることができるというような観点で、もう一度空間線量率等の科学的な根拠に基づいて考えてほしい。	具体的な施策の中で、検討していきます。	放射線監視室	武石委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
15	12	1（1）環境放射線モニタリングの実施	環境回復の推進の部分について、県の独自の役割としてそのモニタリングが非常に重要だと思っており、モニタリングから除染・廃炉・特定復興再生拠点をどういうふうに考えていくか、帰還困難区域をどう見ていくかというところに結びつけていくというアプローチをもう少し強調をしてもいいのではないかと。	具体的な施策の中で、検討していきます。	放射線監視室 原子力安全対策課 除染対策課	清水委員
16	12	環境指標 1 環境放射線量	合同庁舎の線量率だけではなく、第一、第二を含めた原子力発電所周辺の線量率及び中間貯蔵施設の線量率も含めることを希望します。	資料 3 に基づき検討していきます。	放射線監視室 中間貯蔵施設等対策室	渡邊委員
17	12	環境指標 2 水浴場の放射性物質 基準適合率	環境指標 2 「水浴場の放射性物質基準適合性」について、具体的な指標として、モニタリングであれば 10 Bq/L 以下の%ではなく、放射線濃度を具体的に表示した方が良くと思います。	資料 3 に基づき検討していきます。	放射線監視室	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
18	12 15 16	環境指標 2 水浴場の放射性物質 基準適合率 環境指標 3 除染特別地域におけ る住宅除染の進捗率 環境指標 4 汚染状況重点調査地 域における住宅除染の 進捗 環境指標 7 東日本大震災に係る 災害廃棄物の処理・処 分率	<p>指標 2 は放射性物質の集積効果もありますので、その まま掲示を希望しますが、指標 3, 4, 7 は施策と対 応するものではないので、削除しても良いと思いま す。</p> <p>その代わりに課題になっている「森林除染率」, 「側 溝除染率」 「仮置き場の復旧率」などを計画目標に加 えて掲載していただくことをご検討ください。</p>	資料 3 に基づき検討し ていきます。	放射線監視室 除染対策課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
19	15	環境指標 3 除染特別地域における住宅除染の進捗率 環境指標 4 汚染状況重点調査地域における住宅除染の進捗	環境指標 3 「除染特別地域における住宅等除染の進捗率」及び環境指標 4 「市町村除染地域における住宅等除染の進捗率」について、除染の進捗率は 100% になったので、今後の方針と関わって新たに設定する必要がある。	資料 3 に基づき検討していきます。	除染対策課	渡邊委員
20	15 16	環境指標 3 除染特別地域における住宅除染の進捗率 環境指標 4 汚染状況重点調査地域における住宅除染の進捗 環境指標 7 東日本大震災に係る災害廃棄物の処理・処分率	100%の達成したのもでも、今後施策を継続、推進しなければ100%が維持できないものと、事業として100%が達成した場合、さらなる施策が必要ない場合があり、今後施策が必要ない項目については（例えば住宅除染の進捗状況指標 3, 4, 7）目標年度途中であっても終了宣言を明記し、新たな施策や課題に対応する指標を設定することが必要と考えます。	資料 3 に基づき検討していきます。	除染対策課 一般廃棄物課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
21	15	環境指標 5 汚染状況重点調査地 域における住宅除染の 進捗	環境指標 5 「汚染状況重点調査地域等のモニタリング ポスト設置箇所における空間線量率が毎時0.23 μ Sv未 満となる地点の割合」について、今後モニタリングポ ストの地点変更と併せて、県の施策と関係する指標の 設定が必要。	資料 3 に基づき検討し ていきます。	除染対策課	渡邊委員
22	16	環境指標 7 東日本大震災に係る 災害廃棄物の処理・処 分率	環境指標 7 「東日本大震災に係る災害廃棄物の処理・ 処分率」について、平成 29 年度で終了しているの で、県の施策と関連した指標の設定が必要。	資料 3 に基づき検討し ていきます。	一般廃棄物課	渡邊委員
23	15	1（3）汚染廃棄物及 び災害廃棄物の適正な 処理の推進	汚染廃棄物や災害廃棄物の処理は市町村や国が行うか もしれないが、実際に県が実施している作業はかなり 多いと思う。例えば推進のための試験研究など。県の 役割や実施していることを記載しても良いのではない か。	具体的な施策の中で、 検討していきます。	一般廃棄物課 環境共生課	河津委員
24	17	2 原子力発電所及び 周辺地域の安全確保	小項目として、第一原発、第二原発に分けるか、原子 力発電所の廃炉状況の確認と周辺地域の安全確保に分 けるなど小項目を考えてはいかがでしょうか。	具体的な施策の中で、 検討していきます。	原子力安全対策課	河津委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
25	17	2 原子力発電所及び 周辺地域の安全確保	環境回復について、モニタリング、除染の進展は明確であるが、廃炉の進展に向けて、どういうふう地域の方がコミュニケーションしていくか、ともに考えていく状況づくりが今後非常に大事になってくるので、そういう視点で県の側から積極的に提案して欲しい。	具体的な施策の中で、検討していきます。	原子力安全対策課	崎田委員
26	18	環境指標 8 原子力発電所現地確認調査回数	指標8について調査回数を実績値として記載されていますが、白書などに掲載しても内容が分からないと不安になるだけです。内容の表記方法、解決策などを一体として記載する必要があると思います。監視を継続する意味で、周辺線量率や降下量、土壌汚染の現状などの指標公開をご検討ください。	資料3に基づき検討していきます。	原子力安全対策課	渡邊委員
27	18	環境指標 8 原子力発電所現地確認調査回数	環境指標 8「原子力発電所現地確認調査回数」について、モニタリングデータなので問題はないのですが、安心・安全のためにはどのような事情で立ち入りしているのかが重要。立ち入り回数の増加は不安材料であり、適切な情報発信としての指標を検討してほしい。	資料3に基づき検討していきます。	原子力安全対策課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
28	19	II 美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現	持続可能な社会に向けて、環境項目と経済項目と社会項目を統合的に考えながら解決していくという視点が大事であり、地域の中で、このような項目をしっかりと考えるとどんな地域が見えてくるのか、持続可能な地域循環共生圏の分かりやすいモデルをつくっていく形で取り組んではいかがかと思う。	具体的な施策の中で、検討していきます。	生活環境総務課 環境共生課	崎田委員
29	19	1 低炭素社会への転換	ゼロカーボンを実現出来るのは、福島県が一番早いのではないかと。牽引していただければありがたい。再生可能エネルギーの施設や、それを活用した水素の設備など、他のところでは得られない技術もあるので、是非、福島県が積極的にアピールしていただくのがよいのではないかと。	具体的な施策の中で、検討していきます。	環境共生課	崎田委員
30	20 23	1 (1) 温室効果ガス排出の抑制 (4) 福島新エネ社会構想の実現	脱炭素に向かう姿勢を明確にすべき。再生可能エネルギーに関する施策を総合化しながら脱炭素のまちづくりをどう進めていくか検討してもいいのではないかと。CO ₂ フリーの水素をしっかりと活用できるのは日本の中で浜通りしかないという状況になっていることもあり、脱炭素の方向性を明確にしたほうがいい。	具体的な施策の中で、検討していきます。	環境共生課 エネルギー課	崎田委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
31	20	1（1）温室効果ガス 排出の抑制	これまでの取り組みを継続していただくだけでは、パリ協定の実現はできませんので、「強化継続していく必要がある。そのために・・・」と施策があると良いのですが、ご検討ください。	具体的な施策の中で、 検討していきます。	環境共生課	渡邊委員
32	20	1（1）温室効果ガス 排出の抑制	Z E Bの支援が記載されていますが、アクションプランでは福島県内の50%の世帯が太陽光発電設置などを設置することが必要になっています。こうした観点からZ E Hの検討、支援も必要と思います。	具体的な施策の中で、 検討していきます。	環境共生課	渡邊委員
33	20	1（1）温室効果ガス 排出の抑制	（環境に配慮した建築物の整備について）県内全域に 拡大することをご検討ください。	具体的な施策の中で、 検討していきます。	環境共生課	渡邊委員
34	21	1（1）温室効果ガス 排出の抑制	バイオマス発電と森林除染の推進の検討は出来ません でしょうか。	具体的な施策の中で、 検討していきます。	森林計画課 森林整備課	渡邊委員
35	21	環境指標 10 「福島議定書」事業参 加団体数	少子化の影響により学校の統廃合等が行われ、学校数 は年々減少しています。学校数の目標設定の考え方を ご教示いただければと思います。無理な目標設定に なっていないかご確認ください。	資料3に基づき検討し ていきます。	環境共生課	高橋委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
36	22	環境指標 1 7 県有施設への再生可能エネルギー率先導入数	環境指標 1 7 「県有施設への再生可能エネルギー率先導入数」について、県が所有する施設を対象としているところに疑問。再エネビジョンでは県内全体の導入量を示している。指標の在り方をもう一度検討してほしい。	資料 3 に基づき検討していきます。	エネルギー課	渡邊委員
37	22	環境指標	再生可能エネルギーの発電量をアクションプランに基づき風力、太陽光等に区分して導入量を記載することをご検討ください。	資料 3 に基づき検討していきます。	エネルギー課	渡邊委員
38	23	1（3）再生可能エネルギー関連産業の活性化	再生可能エネルギー関連産業の育成・集積に取り組むことについて、今までも取り組んであれば、「引き続き」とか「一層」等の表現を加えた方がいいのではないのでしょうか。	具体的な施策の中で、検討していきます。	産業創出課	河津委員
39	23	環境指標	（再生可能エネルギー関連産業の育成・集積について）企業マッチング数、人材育成数、共同研究数などを指標としてご検討ください。	資料 3 に基づき検討していきます。	産業創出課	渡邊委員
40	23	環境指標	（水素エネルギーの普及拡大について）水素ステーション数などを指標としてご検討ください。	資料 3 に基づき検討していきます。	エネルギー課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
41	24	2 循環型社会の形成	環境基本計画、循環型社会形成推進計画の改定時には、食品ロス削減推進計画の部門を明確につくり、取組をしっかりと発信出来るようにしてほしい。	食品ロス削減推進計画について、来年度策定予定です。	生活環境総務課 環境共生課 一般廃棄物課	崎田委員
42	25	2（1）環境に負荷をかけないライフスタイルへの転換	総菜等の販売に使用されるプラスチックトレーについて、県が主導して使用量を削減を目指すべき。なお、マイバッグの取組は県が主導することで大きな成果が出たと認識している。	具体的な施策の中で、検討していきます。	環境共生課 一般廃棄物課	細谷委員
43	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	リユースのためのマーケットの支援策が必要ではないかと思えます。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	渡邊委員
44	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	循環型社会については、ごみが多いこと、リサイクル率が低いことに徹底的に対応していかなければいけないが、震災後にごみも増え、分別が徹底していないということであれば、移動した方に対し、地域の仕組みをもう1回丁寧に自治体が普及啓発することが必要。また、今課題になっている食品ロス削減に関し、県としての計画を立て、自治体に徹底するなどの対応が必要。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	崎田委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
45	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	循環型社会の形成に関して、マイバッグが普及してきた。県では3Rを推進しているが、ごみとなるものを持ち帰らない、要らないと断る4Rを進めては。10年先の計画なので、先を見越した内容としてはどうか。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	川名委員
46	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	食品ロスについては、一般家庭のほか、学校給食の食品ロスも多いと思われるので、削減を進める必要がある。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	川名委員
47	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	「食べ残しゼロ協力店」について、協力要請ではなく、支援策を実施することで全県的に広げる必要があると思います。SDGs-2とも関連し積極的な取り組みが必要と思います。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	渡邊委員
48	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	プラスチックごみについては、製造する側の協力を得る必要がある。包装にプラスチックを使ったものが多いので、例えば紙製のものを使うとか、土に戻るものを使っていくとか、みんなで協力し合っていないとプラスチックごみを少なくするのは難しいと思う。	具体的な施策の中で、検討していきます。	環境共生課 一般廃棄物課 産業廃棄物課	川名委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
49	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	循環型社会の形成のところで一般廃棄物についてなかなか削減が進まないという話があったと思うが、一般廃棄物は市町村の役割が非常に大きいと思うので、県から市町村、事業者など県以外の主体へのアプローチについてより明確化していくと良いのではないかと。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	清水委員
50	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	ごみの問題が出されたが、各自治体もそれぞれ頑張っているが、最終的にはやはり個人である。分別しようという市民の声が大きくなれば、自治体は非常に推進しやすくなる。そうなればプラスチックの問題も改善していくと思う。県には啓発活動を進めて欲しい。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	大堀委員
51	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	プラスチックのごみについて、県や一般市民の分別だけではなく、製品を製造している側に働きかける施策を国が実施しなければ解決しないと思う。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	武田委員
52	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	SDGsにもあるつくる責任、つかう責任という問題を環境基本計画の中でも具体的な施策として記載できると良いと思う。	資料 2 ⑫	一般廃棄物課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
53	25	2（2）廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	郡山市は新しいタイプの焼却施設なので、常に80℃以上出るが、処理施設の能力には地域差があることから、地域によりごみの分別区分が異なっている。広域的に分別ルールを調整できれば良いと思う。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課	松枝委員
54	26	環境指標26 建設副産物リサイクル率	環境指標26「建設副産物リサイクル率」について、100%の指標を示しても課題は見えないので、できれば全量を示し、廃棄物の量の変化などを示すことを検討してほしい。その上で全量がリサイクルしていることを表現すればよいのではないか。	資料3に基づき検討していきます。	技術管理課	渡邊委員
55	26	環境指標	必ずしも廃棄物のみに係る課題ではないのですが、3R総合推進事業や食品ロス協力店など指標があると良いと思います。なお、その際教育機関等での事業展開が「無理強い」につながらないように注意する必要があります。	資料3に基づき検討していきます。	一般廃棄物課	渡邊委員
56	26	2（3）廃棄物の適正な処理	プラスチックを含めたゴミについては普及啓発だけではなく、SDGsの考え方にに基づき、作る責任、使う責任から回収活動の義務化をすることはできないかご検討ください。	具体的な施策の中で、検討していきます。	一般廃棄物課 産業廃棄物課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
57	26	2（3）廃棄物の適正な処理	「廃棄物の適正な処理のため、県民への普及啓発や廃棄物処理業者等への監視・指導・不法投棄パトロール等に取り組む」とありますが、 廃棄物の適正処理については、法律において事業者がその事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならないとされており、廃棄物処理を処理業者に委託した場合においても排出事業者が処理責任があります。排出事業者の適正処理への意識を更に高める必要があることから、上記文中に排出事業者という文言を挿入していただきたい。関連する計画や資料においても、排出事業者という文言がないものにおいては、挿入していただきたいと思えます。	具体的な施策の中で、検討していきます。	産業廃棄物課	高橋委員
58	27	環境指標30 農業用使用済プラスチック組織的回収率	環境指標30「農業用使用済プラスチック組織的回収率」について、全量を削減する努力が必要で、各年の排出量も示した方がよいのではないかと。目標値も80%の回収を固定しており、全量回収を目標にする必要がある。	資料3に基づき検討していきます。	環境保全農業課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
59	33	3（3）生物多様性の保全と恵みの持続可能な利用	（生物多様性の適切な保全について）協力要請ではなく、支援策を実施することで全県的に広げる必要があると思います。希少野生動植物については情報発信を行うのみになっているが具体的に保全事業が必要に考えます。	具体的な施策の中で、検討していきます。	自然保護課	渡邊委員
60	33	3（4）地震・津波により影響を受けた自然環境及び生物多様性の回復に向けた適切な保全	地震・津波のみではなく、温暖化適応策として、海面上昇による海岸線の消滅が福島県沖でも予測されています。対策の検討が必要ではないかと思います。	具体的な施策の中で、検討していきます。	自然保護課	渡邊委員
61	33 34	環境指標 4 3 生物多様性について理解している人の割合 環境指標 4 4 尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合	指標 4 3 は母集団の問題があります。また、4 4 は観光指標で、政策の指標にはならないと思います。目標値の設定の意味が不明確です。木道整備数や美化団体数、清掃回数、保安林面積などが指標になるかと思えます。	資料 3 に基づき検討していきます。	自然保護課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
62	34	環境指標 4 4 尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合	循環型社会形成のためには尾瀬の貴重な資源を多くの人と共有することも重要ですが、保全事業や学習・啓発事業としての利用を前面に出すことが大切だと思います。指標44（尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合 p66）のPDCAサイクルの数値指標を検討したほうが良いと思います。	資料3に基づき検討していきます。	自然保護課	渡邊委員
63	34	環境指標 4 4 尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合	環境指標 4 4 「尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合」について、尾瀬への入山数が減少する中で、土日入山をどのように考えるか？	資料3に基づき検討していきます。	自然保護課	河津委員
64	34	環境指標 4 4 尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合	環境指標 4 4 「尾瀬の入山者数に対する土・日曜日入山割合」について、土日の入山者が自然環境保全活動指標にどうしてなるのかが不明。観光指標であれば理解できる。指標の適切性の検討が必要。	資料3に基づき検討していきます。	自然保護課	渡邊委員
65	35	3（6）猪苗代湖等の水環境保全	水資源としての河川，貯水池，ため池等の水質保全についてもご検討ください。（水質測定で別途掲載されていますが，白書としても一定記載しておくことが必要に思います。適応策との関係も含めて）	具体的な施策の中で、検討していきます。	水・大気環境課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
66	35	3（6）猪苗代湖等の水環境保全	自然共生社会については、福島の方が大事にしている猪苗代湖のCOD値が上がっている等のポイントを明確にしながら計画をつくっていくのが重要。	具体的な施策の中で、検討していきます。	水・大気環境課	崎田委員
67	35	3（6）猪苗代湖等の水環境保全	猪苗代湖のCOD値が平成29年度から3年連続で上昇しており、これまで横ばいであったものが、明らかに上昇傾向に変わっているのではないかと。 汚水処理人口普及率も着実に増え、水草のボランティアも盛んに行われてきて、この現状であるので、今までと同じ方向性では、止められないのではないかと。 違う方向性も提案する時期に来ている。今までやってきたことだけではだめであるという反省も必要である。	具体的な施策の中で、検討していきます。	水・大気環境課	中野委員
68	38	4（2）化学物質の適正管理等	PCBの処理期限が迫っていると思われませんが、課題として取り上げてはいかがでしょうか。	具体的な施策の中で、検討していきます。	産業廃棄物課	河津委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
69	38	環境指標 5 0 大気環境基準達成率 環境指標 5 1 水質環境基準達成率	環境指標 5 0 「大気環境基準達成率」及び環境指標 5 1 「水質環境基準達成率」について、100%達成は意味があることですが、モニタリングとして具体的な事象や数値を示した方が良いのではないかと。中身がすぐには理解できない。問題事象がいくつあって、これに対応した結果がわかることが大切。	資料 3 に基づき検討していきます。	水・大気環境課	渡邊委員
70	38	環境指標 5 4 水質環境基準達成率 (海域の全窒素、全りん)	環境指標 5 4 「水質環境基準達成率（海域の全窒素、全りん）」について、施策の努力があって100%が達成されていると思うが、施策のわかる指標が必要。必ずしも数値指標でなくてもよいのではないかと。	資料 3 に基づき検討していきます。	水・大気環境課	渡邊委員
71	39	環境指標 5 9 公害苦情件数	環境指標 5 9 「公害苦情件数」について、目標値が400台に対して、実績では600、700出てきている。騒音、振動、悪臭等の区分をすると改善されるのでは。	資料 3 に基づき検討していきます。	水・大気環境課	松枝委員
72	40	4（4）大規模な開発行為への対応	メガソーラーの設置などは「土地利用が図られるよう誘導していく必要がある」ではなく、環境影響評価等に含めてをきちんと実施（特に光害）することで対応することが必要ではなかと考えます。	具体的な施策の中で、検討していきます。	環境共生課	渡邊委員

福島県環境基本計画に関する環境審議会委員からの意見について

No.	計画 ページ	項目	意見等	対応（案）	担当課	委員
73	42 43	5（1）環境教育の推進、参加と連携・協働に基づく環境ネットワーク社会の構築 （3）情報の収集・提供と発信	SDGsの取組が普及してきており、関心が高いところである。福島県がリードし、企業や個人的な団体が宣言をした場合に、それを取りまとめるような進め方をして欲しい。SDGsは一般の方たちが知ることがまず前提になると思うため、より皆さんが分かるような出し方をして欲しい。	資料2 ⑫	生活環境総務課	川名委員
74	43	5（3）情報の収集・提供と発信	環境ネットワーク社会の部分について、環境創造センターのバス代補助等を学校もしっかり活用し、放射線教育を徹底するような地域にしていくなど、目標を明確にしながら取り組んでいければ良い。	具体的な施策の中で、検討していきます。	環境共生課	崎田委員